

南山寿(なんざんのじゅ)

出典 詩経・小雅・天保篇

古典漢詩や吉祥句によく出てくる言葉です。南山とは、中国の「終南山」(中国・西安の南方、秦嶺山脈中にある峰)のことを指し、長く高く崩れ落ちない山の象徴です。寿とは、長寿のことです。つまり「南山寿」は、「南山のように長寿であること」を意味し、長寿を祈ったり、長寿を祝ったりする言葉として古くから使われてきました。

詩経が編纂された約二千五百年前の寿命について調べてみました。「幼児死亡率が高く平均寿命は三十歳前後だったのではないか」「二十歳前後まで生きた人は、五十歳〜六十歳程度まで生きる例も多かったのではないか」という意味の記述がありました。

当時からすれば、現代の平均寿命は大きく伸びてはいますが、「元気に、より長生きしたい」という長寿への強い願いは今も昔と変わりません。私自身、何歳まで生きることができるのかは分かりませんが、古人と同じように「南山寿」と明るく唱え、楽しく生きたいものです。

作者のことば